

4. 審査

(1) 審査方法

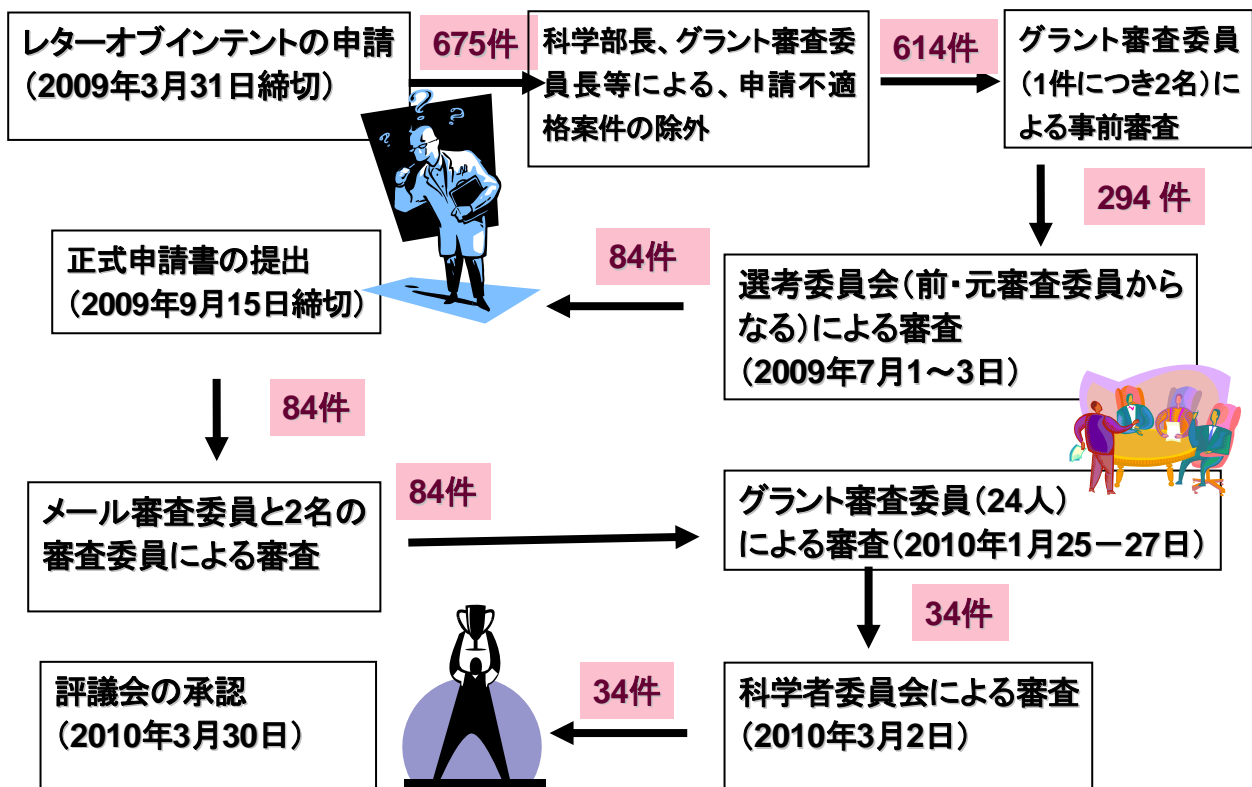
ピアレビュー方式による審査を行っています。本分野における世界の第一線の科学者から構成される審査委員会およびメール・レビューにより、審査が実施されます。審査委員会として、研究グラント担当の委員会とフェローシップ担当の委員会が設置されています。

(2) 審査対象

助成対象の審査の重要な選定基準としては、科学的見地からの研究の「質の高さ」、「学際性」、「大陸をまたがるような国際性」および「研究協力の必要性」などがポイントとなります。また、フェローシップの場合は、「質の高さ」等は勿論ですが、「新しい研究分野への転換」についても併せて審査されます。

(3) 2010 年度の審査例

◆ 2010 年度研究グラント審査過程



◆ 2010 年度フェローシップ審査過程

●長期フェローシップ

- ・ 申請締め切りは 2009 年 9 月 10 日
- ・ 始めに 1 件当たり 2 名の審査委員が事前に審査し、これを踏まえランク付けを行う。
- ・ 2010 年 1 月の審査委員会で 74 件採択。

●学際的フェローシップ

- ・ 事務局による資格審査の後、長期フェローシップと同様に 2010 年 1 月の審査委員会で 12 件採択。

◆ 2010 年度 CDA 審査過程

- ・ 2010 年度 CDA の申請締め切りは 2009 年 11 月 12 日
- ・ 申請書は 1 件当たり 2 名の科学者委員によって審査され、3 月の科学者委員会で 16 件採択。